

平成24年度 茨城県火災調査研究会を開催

茨城県立消防学校

茨城県立消防学校は平成24年6月22日、県内外の消防本部から124名の参加者が集い、火災調査技術の向上を図るために火災調査研究会を初開催しました。研究会では東日本大震災で火災調査にあたられた気仙沼本吉地域消防の小山氏に津波火災の講演を、また、船橋市消防の柴田氏に中核市における火災調査と最新火災事例の講演を、さらに、県内消防本部から火災調査事例の発表を実施しました。消防学校では今後も県内の火災調査技術向上のために定期的に研究会を開催したいと計画しております。



研究会実施状況

危険物火災を想定し危険物施設と合同消防訓練を実施

坂戸・鶴ヶ島消防組合

平成24年6月8日、当消防本部は、危険物保安の意識高揚及び啓発推進のため、危険物施設を維持管理する日立インターメディックス（株）坂戸事業所の自衛消防隊と合同消防訓練を実施。自衛消防隊を含む社員約80名並びに消防車両5台により、119番通報、避難誘導・初期消火訓練、被害軽減を図るための初動対応等を確認。訓練終了後、同社坂戸事業所の高橋部長は「危険物等の事故防止への取組として保安教育、防火管理及び訓練は大切」と語るなど、大変有意義な合同消防訓練となりました。



合同訓練の様子

消防通信

望

楼

ぼうろう

防災講演研修会を開催

廿日市市消防本部

平成24年6月8日、当消防本部は廿日市市危険物安全協会との共催により防災講演研修会「危険物の漏洩対策について」を開催。関係者70名参加のもと、危険物漏洩の際に有効な工法や各種吸引資機材の使用方法等について、同協会会員事業所有識者の講義と実演を行い、活発な質疑が繰り広げられるなど、大変有意義な研修会となりました。当消防本部は、今後も、地域一体となってより効果的な事業に取り組み、危険物に対する意識啓発と向上に努め、安全なまちづくりを推進してまいります。

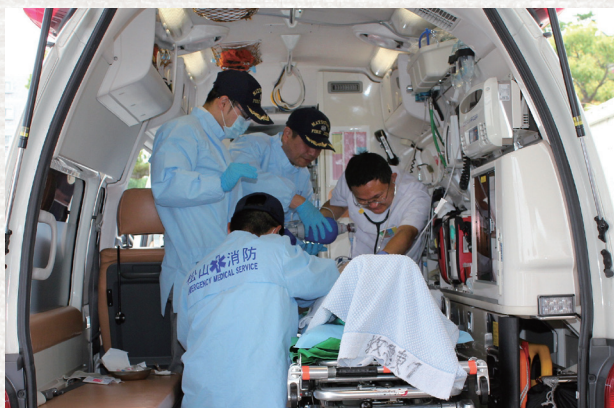


講演研修会実施状況

「派遣型救急ワークステーション」運用開始

松山市消防局

当消防局は、平成24年6月1日、愛媛県立中央病院に救急車1台と救急隊員3名を9-17時まで派遣する「派遣型救急ワークステーション」を四国で初めて運用を開始。救急隊員108名を3人一組で病院に常駐させ、平時には同病院救命救急センターでの実習により救急救命処置の質を高め、出場時には必要に応じて救急車に同乗する医師とともに救急現場での活動充実を図ります。救急隊員が病院に常駐することで医師の助言を得ながら、病院との「顔の見える関係」を構築し、救命率向上に努めてまいります。



医師の指示・指導のもと、救命処置訓練

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、[E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp] まで [225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください]